



挫折の錬金術・平成サツキ、 平成サツキ、M-1優勝への道

底辺から笑いを紡ぐ、
二人のシネマティック・
ドキュメント

商店街のアーケードは
昼でも少し薄暗く、蛍光
蛍光灯のジリジリした音
音やけに響いていた。

ポチャ

ジリジリ...

アスファルトには
雨上がりの
水たまりが残り、
足元やけに滑りやすい。

うん。勝つ

ガッ
ガッ

今日は
ネタ合わせじゃないの。
……本番の日だよ

【ズレ枠】ふあていん



底辺のくせに
やけに夢だけは
正面から
見てしまう二人

役割：攻撃型・直感的

精神状態：先に“次の一歩”
の形を作る

特徴：挫折を笑いでほどく

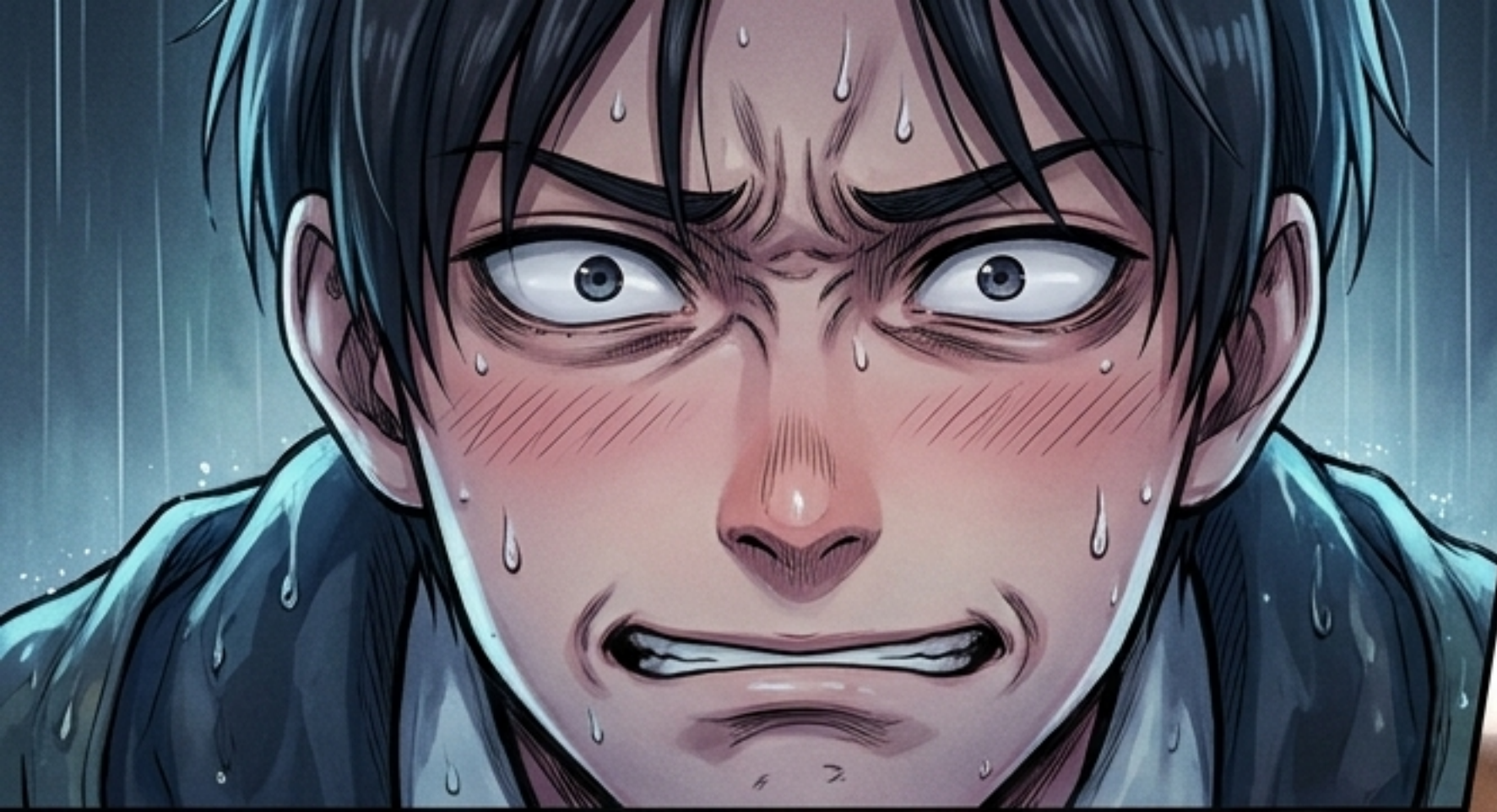
【真面目枠】中井兵馬



役割：防御型・論理的

精神状態：常に「心が重い」

特徴：逃げないぶん、傷つく



失礼な……

背負われる前に
説明する準備を
してるだけだ

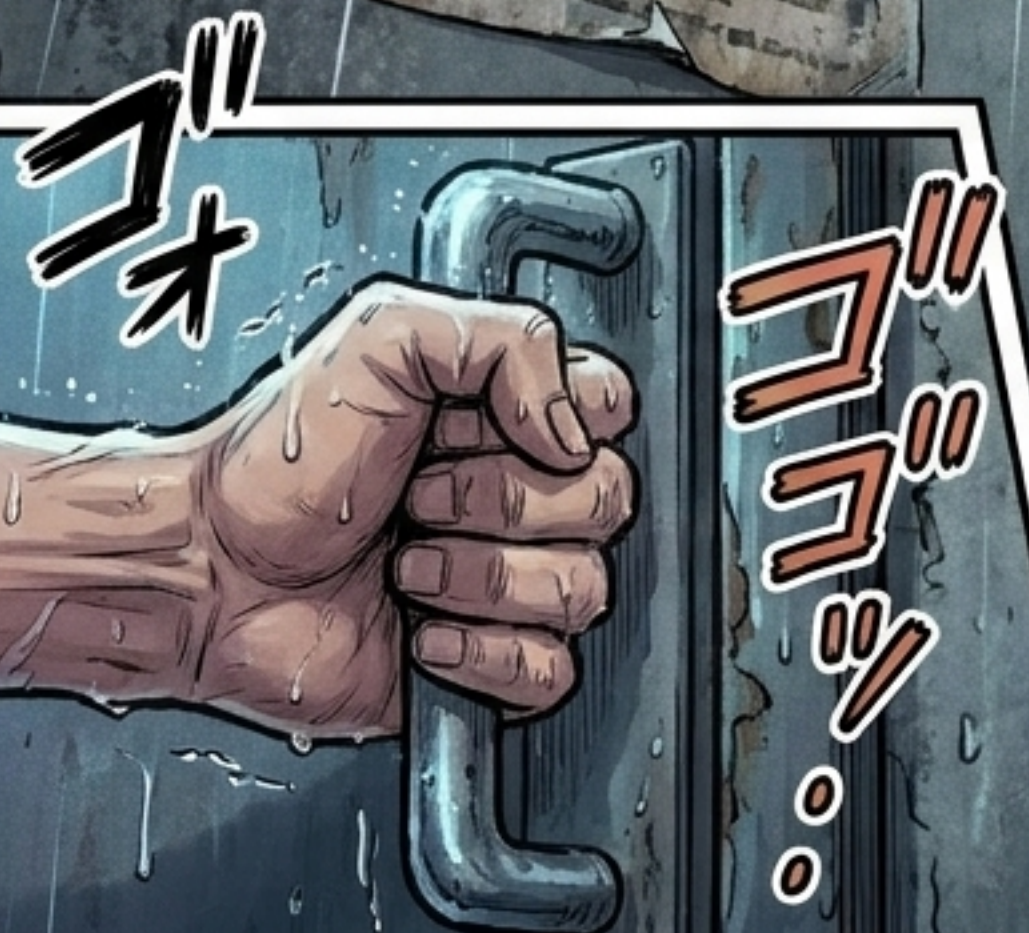
底辺の人は、夢を持ってるだけで重い。
だから平成サツキは、夢を分け合う。

兵馬、今の顔、
芸人の顔じゃなくて
“説明責任を背負った人”
の顔だよ

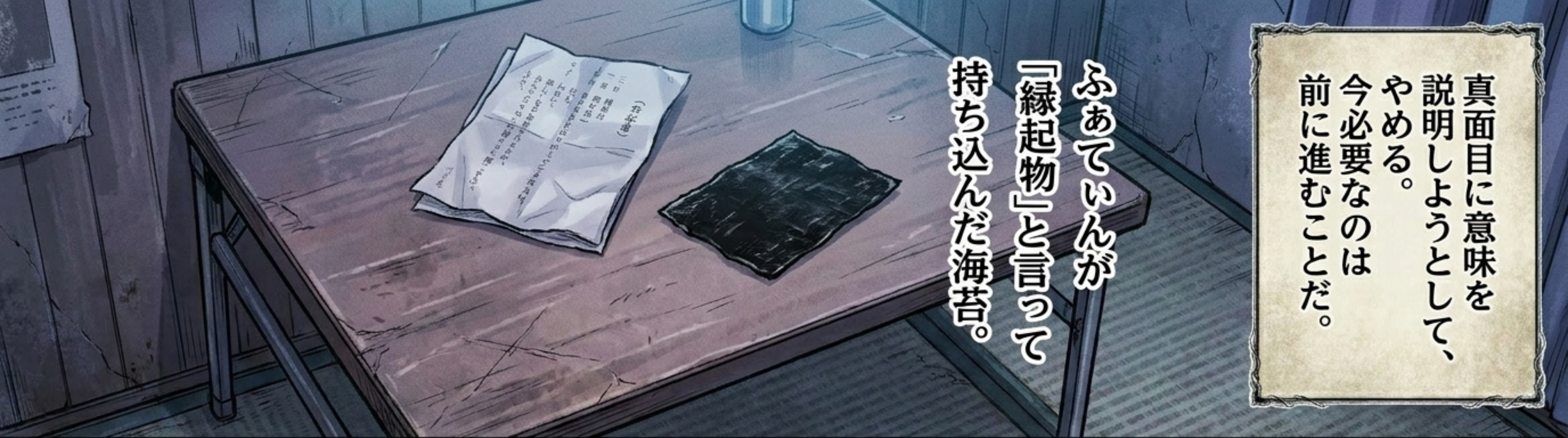
ライブハウス

底辺同士が
集まる場所であるほど、
夢のサイズだけは
やけけに大きい。

ガ
コ
ツ
ッ




扉を開ける前に
空気の冷たさを
肺に入れ直す。



真面目に意味を
説明しようとして、
やめる。
今必要なのは
前に進むことだ。

ふあていんが
「縁起物」と言っ
て
持ち込んだ海苔。



真面目な
自分の体温が、
舞台の緊張に
負けそうになっている。



残ってるなら、
笑いで回収できる。

挫折は、最後に
最後に笑うため材料
材料だから

……よし



……責任って、
まだ残ってるのに



兵馬。
今日、もし最初にコケても、

もし最初にコケても、
俺たちの責任じゃなく
“転び方”の責任にしよ

『ザワザワ...』

(……今の、
挫折じゃない。
事故だ)

マイク線が床に絡まり、
彼の靴が一瞬だけ
止まった。

真面目さゆえに
その一秒は本人の中で
三日分に感じられる。

【技の図解：丁寧な死】



【Step 4: 観客の認知】
→ズレが技に変換される
→【爆笑】

【Step 3: ふあていんのツッコミ】
→「兵馬、今“丁寧な死”してる」

【Step 2: 兵馬の反応】
→強引に引かず、異常に「丁寧に」ほどく

【Step 1: 刺激】
→事故発生

俺は生きてる。
丁寧に生きてる



丁寧に生きてる人の
マイク、そんなに
絡まないよ！

優勝の
イメージはこう！
「会場の空気が、
私にだけ拍手
する世界」

キラ キラッ！

キラ
キラ
キラ
キラ
アア

風よ……
上へ……

ブオオオン！

ガッ！

兵馬、祈ってる場合
ている場合じゃない。

風、ってる
顔してる！

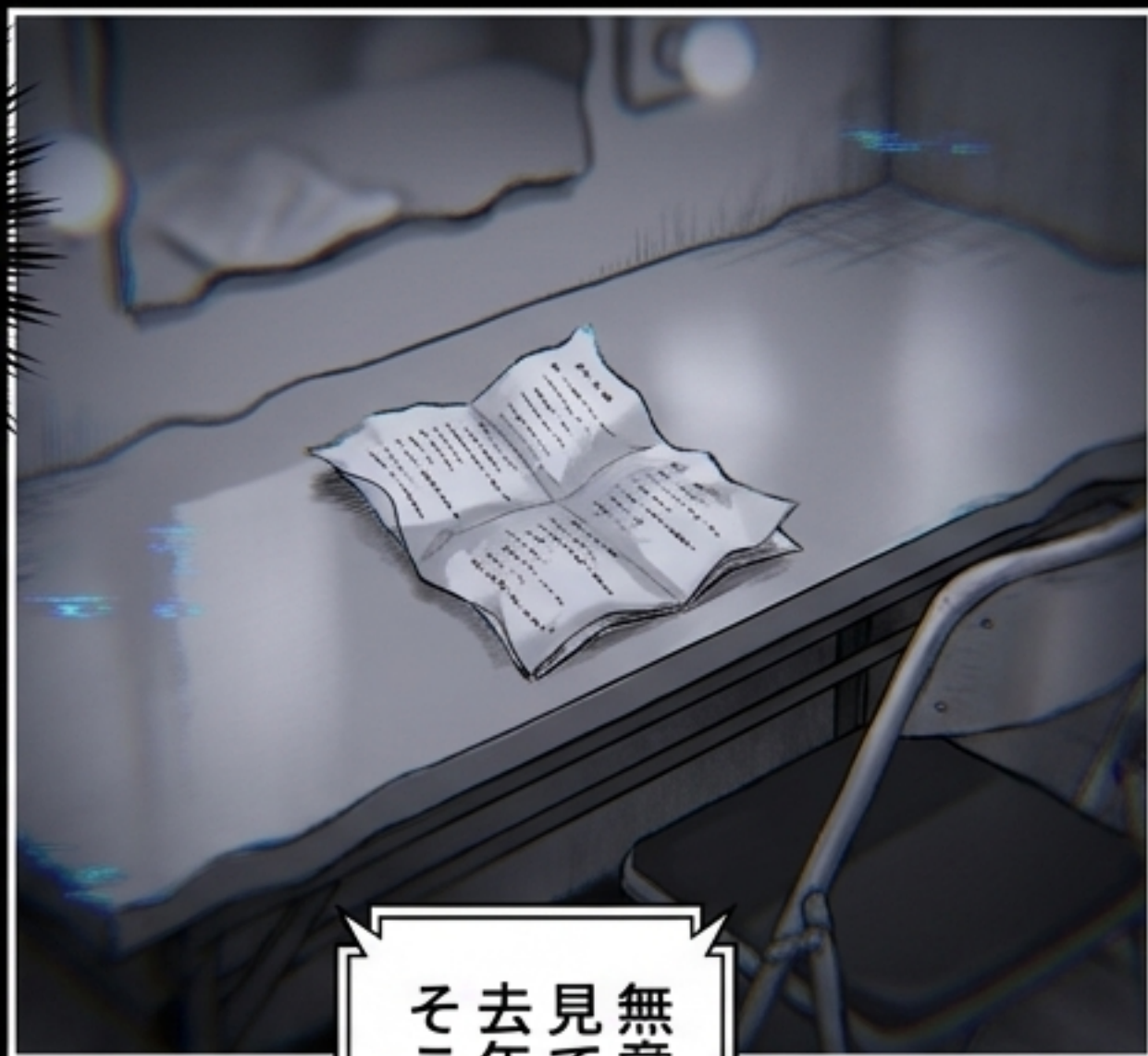
観客は笑う。
笑いは温度を持つ。
冷えていた心が、
少しずつほどけていく。



(……挫折の匂いがする)

……俺、今、挫折を見た

だから、挫折を“ネタの一部”として差し込む。



無意識に台本を見てしまった。去年の自分なら、そこで終わっていた。



ネタ中盤、タイミングがほんの少しだけ崩れる。



グシヤア


モグ
モグ

えーっ、
兵馬さ、台本を
“未来の栄養”
として食べてるー！

説明しすぎ！
説明しすぎか！

笑いは“回収”されて初めて完成する。
二人は、ちゃんと支え合っている。

違う、食べてない。
噛んで……ない。でもそれ、
読んで……
今の挫折の形
ししてるから
許される！



俺たち、落ちてきた。
でも今日の「笑い」は、
落ちた分だけ濃い


底辺の時間は長い。
だからこそ、
優勝の味は濃いはず！

空の箱から“見えない拍手”をすくい上げる。
二人の表情が「今鳴った」と言っている。
手拍子が広がった。

【概念図：挫折の錬金術】




失敗を避けるのではなく、失敗を代謝して高密度の笑いを生み出すメカニズム。



当たり前!
私たち、底辺から
M1優勝する!

二人の歩幅が揃い始めた、
その瞬間——
優勝は、遠い夢じゃなく、
近づく約束になった。

——平成サツキ、挫折を越えて優勝へ——終



挫折を越えたら、
優勝に向かうんだな